

農薬使用履歴は、安全・安心の証明 防除日誌を必ず記帳しよう

農薬の使用方法は、十分な防除効果と収穫物の安全性を確保できるように定められています。
農薬を適正に使用すれば、農作物に使用農薬が残留基準値を超えて残ることはありません。防除記録を確認することによって、農作物の安全性の証明ができるのです。

防除日誌記帳は、記入もれや書き間違いのないように正しく記載しましょう



ポイント 1

日誌は作物別に

作物が同じでも農薬の使用時期が異なる場合は、別々に管理します。

2008年度 ○○農協 △△支所

キャベツ 栽培日誌(表) 00000001-1

通信欄

生産者コード 1 2 3 4 5 6 7 8 生産者名 愛知 太郎 電話番号 052-951-3471

住所 名古屋市中区錦3-3-8 品種名

作型 (数字を記入) 5ハウス 9露地

ほ場番号 ほ場住所

栽培開始時期 2008年 月 日より 作業を開始しています 収穫時期 (予定) 月 日

ポイント 4

収穫スケジュールを記入

農薬散布の前に収穫前日数が守られているか、使用回数がオーバーしていないか、確認します。

ポイント 2

使用農薬名は正確に

剤型に注意して、登録のある農薬を使用します。

(例) オルトランには、粒剤・水和剤等があり、それぞれで使い方が異なります。

2008年度 ○○農協 △△支所

キャベツ 栽培日誌(裏)

印刷日: 2008年8月1日

3. 防除日誌 (倍率または10aあたり使用量)

農薬名	倍率または使用量	収穫前日数	使用回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
1. ダコニール1000	1000倍	14	2	月 日	月 日	※ ※ 月 ※ ※ 日	※ ※ 月 ※ ※ 日	※ ※ 月 ※ ※ 日
2. フェニックス顆粒水和剤	2000倍	前日	3	月 日	月 日	月 日	※ ※ 月 ※ ※ 日	※ ※ 月 ※ ※ 日
3. アクタラ粒剤5	1~2g/株	収穫前日数	1	月 日	※ ※ 月 ※ ※ 日	※ ※ 月 ※ ※ 日	※ ※ 月 ※ ※ 日	※ ※ 月 ※ ※ 日
4. アファーム乳剤				月 日	月 日	月 日	※ ※ 月 ※ ※ 日	※ ※ 月 ※ ※ 日
5. プレオフロアブル				月 日	月 日	月 日	※ ※ 月 ※ ※ 日	※ ※ 月 ※ ※ 日
6. ランネート45DF				月 日	月 日	月 日	※ ※ 月 ※ ※ 日	※ ※ 月 ※ ※ 日
7. ゼンターリ顆粒水和剤				月 日	月 日	月 日	※ ※ 月 ※ ※ 日	※ ※ 月 ※ ※ 日

ポイント 3

防除内容を記入

希釈倍率や使用量の基準を守って、防除の都度正確に散布日を記入します。

防除日誌は、栽培期間中もチェックするとよいでしょう。それまでの防除に誤りなどないか、また収穫までの農薬使用に無理がないかなど確認します。

収穫後は、作期を通じ防除の問題点などを確認し、次の防除に役立てます。



基本を守って3つの安全

農産物 農家 環境

JAグループ



JA全農 肥料農業部作成 JAあいち経済連版